

会 議 等 結 果 報 告 書

会議区分	会 議 ・ 打 合 せ ・ 協 議	文書番号	2 1
		決裁期日	平成 23 年 4 月 19 日
名 称	住民会長との町政懇談会(平成 23 年度第 1 回)		
日 時	平成 23 年 4 月 15 日(金) 13 時 30 分～15 時 35 分		
場 所	消防大会議室		
出席者	住民会長25名(別紙) 理事者：向山町長、田浦副町長 課長職：田中総務課長他13名(別紙) 説明員：藤田防災アドバイザー 事務局：町民生活課自治推進班 吉岡主幹、寺田主事		
内 容	<p>(司会) 田浦副町長</p> <p>あいさつ(向山町長)</p> <p>お忙しいところお集まりいただいたことにお礼申し上げます。3月11日に国を揺るがすような大災害が発生し、東北、北関東地方を中心に大きな被害を受けている。改めて犠牲になられた皆さん方に心から哀悼の意を表すとともに、被災地が一日も早く復興されることを願う。当町から自衛隊を中心に950名近い隊員の皆さん方が支援に行っているということで敬意を表する。また、消防も第2陣が現地で活動をしている。町としても、様々な対策を講じているが、詳細については担当から報告する。</p> <p>3月に定例議会が終了、経済状況に閉塞感が漂っている中、今回の震災があり、この先の経済を懸念している。当初予定していなかった予算、事業についても今後の展開によっては検討する。</p> <p>特に今年度は、防災アドバイザーを配置して、自主防災組織を充実していきたい。併せて、町の経済の活性化も期待し、省エネ、新エネ、バリアフリー化などの環境対策も図って参りたい。</p> <p>それから、国保税の税率改正については、国保の被保険者が高齢化し、所得が伸び悩む経済背景もあり、財政基盤が不安定化し、長年財政を一方で支えてきた基金等の財源も底をつき、国保税の改定を今年度お願いした。まずは健康な体づくりが基本、健康づくりについても説明をさせていただきたい。</p> <p>目指す協働のまちづくりが確実に前進するよう取り組んでいきたい。</p> <p>この懇談会を通じて、ご意見をいただき、町政運営を図りたい。</p> <p>理事者・課長職紹介(自己紹介) (13:44)</p> <p>《議事》</p> <p>議題1 平成23年度予算及び仕事の概要について(説明者：総務課長)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 予約型乗合タクシー事業は、4月から順調に運行、現在300人余りが登録、今後とも随時登録を受付 		

- ・ 上富良野小学校の改築は、老朽化が進んでいることから今年度は基本設計をし、来年以降の整備計画を立てる。

(質疑)

旭住民会： 夕張市はあと10年で借金を返せる予定だが、上富良野町は73億の借金があり、あと10年でそれを返済しなければならない。

副町長： 再生に取り組む前に早期健全化を進めると法令で定まっております、議会に対し、その水準を報告し、議会の監視のもとに財政運営している。先までは断定的に申し上げられないが、皆さんに心配を掛けたくないですので、ご理解をいただきたい。

大町住民会： 昨年も懇談会の時に生活灯のLEDの推進についてお願いしたところ、予算計上いただきありがたい。補助率を教えてください。また、件数の多い場合は、来年度以降もどう進めるのか教えてください。

副町長： 議題3に表題を上げているので、その中で説明させていただきます。

(14:03)

議題2 住民会(自主防災組織)の活動促進について

(説明者：総務課防災担当課長・防災アドバイザー)

防災担当課長からの説明事項。

- ・ 防災アドバイザーの配置
- ・ 東日本大震災に伴う町の支援状況について

防災アドバイザーからの説明(資料別紙)

(質疑)

旭住民会： 民生児童委員や町内会長が地図を持って、防災弱者避難図上訓練、移送計画を作っている。

要援護者を移動させる訓練は、実際には大変である。しかし、計画をしっかりと作っておけばそれに近いことはできる。災害弱者避難所については以前から言っているが、どうなっているのか。

副町長： 地域課題と受け止めている。今回の大震災を大きな教訓として町に置き換えると、今までの発想でいいことと十分でないこともたくさんあったが、別な機会に意見交換をさせていただきたい。また、地区毎にいろいろな意見があると思うので、それも行政に持ち帰って議論を深めていきたい。

旭住民会： 防災士とはどういうものなのか。

副町長： 防災の資格や経験を有した人が地域の中で活動することで、防災に関わる底上げをしたい。防災アドバイザーが地域に入り、地区ごとに防災の担当がいればいいという理想を語ったので、可能な地域、そうでない地域も、連絡調整やお世話いただく方も必要と思い、説明した。地区ごとに格差がないようにしたいと思っているのでご理解いただきたい。

(14:36)

議題3 環境対策促進事業について(説明者：町民生活課長)

- ・ 生活灯のLED化については9割補助であり、予算をオーバーした場合は、議会での質問にもあったが、町としては事業を促進するというところで、3年間を目安にスタートする。できれば適時適切に対応できるような形で最終的

に町長に判断を仰ぐ。できるだけご要望に応えられるように考えている。

(質疑なし)

(14:45)

議題4 町の健康課題と平成23年度取り組みについて

(説明者:健康づくり担当課長)

- ・ 特定健診の22年度の受診率が72.8%で、特定保健指導の実施率が93.7%ということで、検診の受診率と特定保健指導の実施率の目標値を超えたところが紹介された全国4つの町村の中に上富良野町が入った。(道内1位:和寒町)
- ・ 今年もまた検診を受けていただき、町の医療費が65~69歳、70~74歳の1人のかかる医療費は、全道で最低の額になってきている。検診を受けている60歳以上の方が8割以上の受診率を保っている年代もある。早めに医療を受けて医療費を多く使わないことが定着してきた。
- ・ 学習の幅を広げるため、出前講座のメニューも増やした。地域の中で声を掛けていただきたい。

(質疑なし)

(14:51)

議題5 徘徊高齢者等検索ネットワークについて(説明者:保健福祉課長)

(質疑)

旭住民会: 町の窓口が2つも3つもあってもだめで、徘徊に限らず防災、防犯も含めて1つにしてほしい。

副町長: ネットワークについては、保健福祉課が窓口になっている。町の中でもできるだけ集約してどこで何があっても中で横断的に回るようにしたいと思うので検討課題にさせていただきたい。

(15:05)

議題6 住民会関係体育事業について(説明者:教育振興課長)

- ・ 22年度は6事業、住民会の延べ数で言うと69住民会、161チーム、延べ911人の参加を得ることができた。改めて住民会長さん方のご協力に感謝する。

(質疑)

住吉住民会: 聞信寺から毎年花祭りにぶつかるので日程の変更をできないかという連絡が住民会長連合会にあったので教育委員会に行っていた。

来年以降は調整していただきたい。

教育振興課長: 町民ふれあいスポーツ大会の実行委員会の組織で日程を決定している。今後は調整して進めていきたい。

(15:08)

その他

- ・ 主要町道の環境委整備に伴う住民会との協働作業について

昨年は路線を選定したが、今年は各住民会で分かっている汚れやゴミが目立つところをの清掃活動をお願いしたい。実施される場合は、町からゴミ袋を提供し、収集したゴミを指定場所に置いていただければ、町で収集し処分費用も町で負担する予定です。ぜひご協力いただきたい。

- ・ 公園緑地等維持管理の実施に係る諸手続きについて(説明者:建設水道課長)

22年度は6住民会にご協力いただき、23年度については4つの住民会に同意をいただき、合計で10の住民会にお引き受けいただくことになっている。

(質疑なし)

(15:14)

- 自治推進班からの連絡事項について（説明者：自治推進班主幹）
自治活動推進交付金と町内の4会館の委託料は、4月11日振込
自治活動奨励補助は、昨年度、予算額100万円に対し、18件、100万円の執行
町内会長は毎年変わるので加入推進に困っていることが多い。チラシを活用し、町内会加入の推進を行っていただきたい。住民会長にリーダーシップを取っていただきたい。
協働のまちづくり推進のため、各住民会、町内会に出前講座として、説明させていただきたい。
（質疑なし） (15:17)

意見交換

旭住民会： 5月15日に住民会で防災訓練を実施するので、それまでに防災弱者避難所を指定していただければ、図上訓練をし、町内会長と受付場所などを確認しようと思う。それまでにできないのであれば、12月に防災訓練をしたいと思っている。

副町長： 町も防災計画に基づいて避難所を設けているが、避難生活が長期にわたることについては具体的な想定の基に設計できていないので、1次避難所や2次避難所という程度の振りをしたい。住民会長の発言のような次元で福祉避難所を明言することはできないと思うが、課題として福祉避難所を専用として設けることについては、現実的に受け止めなければいけないと思っている。しかし、5月15日や12月に向けてということは難しい。

旭住民会： 町内会長に避難計画を作らせて、それから避難所を確認に行く。年度当初にこの訓練をやれば1年間はわかるようになる。

副町長： 現状は今申し上げたとおり、事態には対処しなければならない。事態毎に本部長として決断するが、秩序正しく整然と色分けするのは時間がかかる。大きな課題と受け止めている。町としても福祉避難所に関わらず、検証することが数多くある。

本町住民会： ただ今説明を受けた公園緑地維持管理の実施に係る諸手続きの依頼の文書と、別の封筒の書類の保険料が違うのだがどちらが正しいのだろうか。また、緑地は231㎡から634㎡と3倍近い差があるのだが、作業費の計算をすると面積が3倍近くあるのに同じ額であるという算出の基準は見直さなければならない。また、遊具の有無や砂があるところ、ないところいろいろと格差があるので、状況を見た形の中で作業費の算出と面積に応じた交付金の計算方法を改めていかなければならない。

建設水道課長： 保険料は、昨年のもを使い4月8日に発送、その後、4月13日に今年度の見積もりが出たので改めて送付した。また、公園の面積や形状によって管理形態が変わるという面については、22年度の実態で掴んでいる。ただ、算定方式をどうするか検討中である。

本町住民会： 試算したら、小さいところと同じようにやると、住民会が持ち出ししなければならない。平均化を図る結果そのような実態になっているが、実

情を十分理解し、算出を検討していただきたい。

東明住民会： 敬老祝い金は、来年から見直したいという話しが出ているが、高齢者は楽しみにしている。平成24年度からはどう見直すのか。

保健福祉課長： 来年度からは現在の半分、再来年からは、介護保険や介護予防など高齢者に必要とされる事業に振り向けたいので、ご理解を賜りたい。

副町長： 町長からも思いがあるので発言をさせていただきたい。

町長： かつて敬老祝金制度が制度化された当初と、現在の高齢者のニーズが大幅に増え、すでに高齢者に対する予算配分のウェイトが高い。限られた予算の中で、高齢者、経済、子育て、医療などあらゆる分野に目を向けていかなければならない。これまでの仕組みもあるが、高齢者全体の福祉向上に役立つ予算の使われ方を考えており、数年後には違う形での予算の活かし方をしたい。

いろいろな機会を通じ、皆さんのご意見を参考にして、制度設計したいと考えているのでご理解を賜りたい。

東明住民会： 高齢者と子どもは日本の宝だと思っている。できるだけ配慮しながら進めていただきたい。

富原住民会： 富原地域には町道や東中に向けての道道や町道があり、5月の連休前に道路の環境整備としてゴミ拾いをやっている。町道は、年々ゴミが減るが、道道のヌッカクシ富良野川河川敷にゴミが捨てられる。ゴミを捨てないよう看板を設置していただきたい。

建設水道課長： 道道は直接判断できないが、出張所に話したい。

副町長： 時間を押していることお詫びする。明日以降でも意見があればお寄せいただきたい。

町長からお礼の挨拶

非常にはしよった会議になり、大変申し訳ない。本日説明したことに共通するのは、住民と皆さん方に参画いただき、始めて事業として効果が上がる。

協働のまちづくりを目指して取り組んでいるので、町民の皆さん方からご理解をいただき、それぞれの事業に参加いただき、まちづくりに力を貸していただくようこの場をお借りしてお願い申し上げ、閉会のご挨拶としたい。

《閉会》 15時35分

本会議後、以下の会議が引き続き行われた。参考として資料を添付。

- ・ 上富良野町消防後援会総会 15:45～16:35
- ・ 上富良野町住民会長連合会総会 16:40～17:45ごろ